

「さんげさんげ」ずぶぬれ御利益



「さんげさんげ」で勢いよく水をすくい上げる子どもたち

諏訪市南澤町で15日、無病
災や五穀豊穡を願う伝統行
「さんげさんげ」があった。
内にある阿夫利神社祭典の
場。地元の園児から中学生
の7人がずぶぬれにな
敏喜を上げて水を掛け合

神奈川県伊勢原市にある同
神社総社社の大山阿夫利神社
の水行が由来とされる。「神太
刀」と呼ばれる大小2本の木
製太刀を使って小川の水をす
くい清め、「さんげ、さんげ」
と唱えながら立ち並ぶ人々

相手とともに御利益があると
され、全身をぬらしていた。
上諏訪中3年の伊藤結屋さ
ん(14)は「病気になるまいよ
う願いを込めた。汗だけで来
たので、めっちゃ冷たい水が
気持ちいい」と笑顔。名取紀
行区長(67)は「年々子ども
の数が減っているが伝統行事
の場を設け、後世に残してい
たい」と願っていた。